

音楽科学習指導案

尾道市立高西中学校

- 1 日 時 平成24年11月6日(火) 2校時
- 2 学年・組 2年C組(男子16名 女子21名 計37名)
- 3 場 所 音楽室
- 4 題 材 名 混声三部合唱へのステップ「道」
- 5 題材設定の理由

(1) 題材観

本題材は学習指導要領A表現(1)のウ「声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。」に基づいて設定するものである。

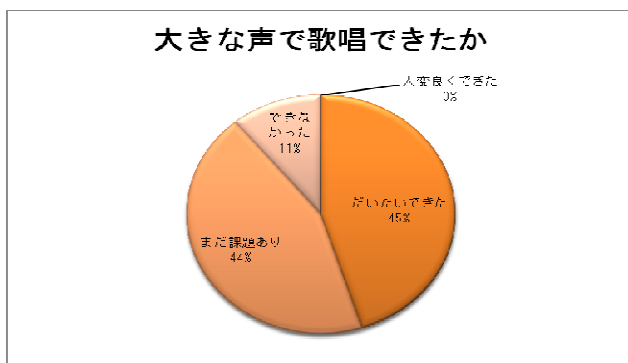
本題材で学習する「道」は、人気アーティストの曲を混声三部合唱に編曲した合唱曲であり、生徒の高い関心が期待できる。これまで学習してきた曲よりも音域の幅が広く、全てのパートに主旋律及び副旋律(UhやAhで歌う部分)が表れるなど、難易度が高い合唱曲であるが、自分のパートの役割を理解し、それに合った強弱や音色を工夫しながら歌うことが学習できると考える。自分のパートと全体との響き合いを感じ取りながら歌唱表現することができれば深い感動を味わうことができると考える。

(2) 生徒観

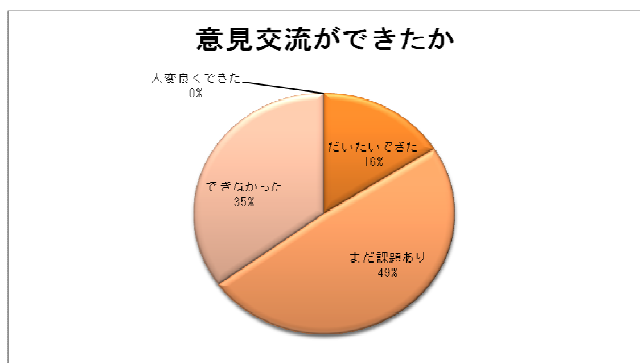
本学級の生徒は、歌唱に対して意欲がある生徒が多い。特に女子は、2学年進級時に「歌唱が好きである」と答えた生徒が85%いる。しかし、全体的に仲間に対して遠慮があり、仲間の前で大きな声を出したり、パート練習で意見交流をすることが難しい状況も見られる。パート内で出される意見も、音楽を形づくっている要素と表現意図を関連させた意見が言える生徒は限られている。

毎回の授業で実施している自己評価カードを分析した。「①大きな声で歌唱できたか」の項目では、S(大変良くできた)0%、A(だいたいできた)45%、B(まだ課題あり)44%、C(できなかった)11%であり、半数以上の生徒が課題を感じている。(表①)

また、「②パート内で意見交流ができたか」の項目では、S(大変良くできた)0%、A(だいたいできた)16%、B(まだ課題あり)49%、C(できなかった)35%であり、84%の生徒は意見交流ができていないことが分かる。(表②)



表①



表②

(3) 指導観

本題材を通して、学習指導要領に示されている〔共通事項〕の音色、旋律、強弱の指導を行う。

まず、それぞれのパートの旋律が、主旋律・副旋律のいずれなのか、その役割を理解させる。次に、自分達のパートがどのような声の音色で、どのような強弱で表現すれば全体で響き合うのかを考えさせる。実際に歌唱表現する場面では、生徒同士が旋律と声の音色、強弱とを関連

させた意見を出し合い、相互に批評させながら、考えた表現で実際に歌唱することができるよう指導する。

この過程で、声部の役割を意識しながら歌唱し、全体の響きと自分の声部とのかかわりを客観的に聴き取る場面を設定することで、自分達の表現を確認させ、他と調和させて美しい表現で歌おうとする姿勢を育てたい。

6 題材の目標

- ・声部の役割を理解し、それに合った強弱や音色などの表現を工夫する。
- ・混声三部合唱の響きや、皆で合わせて歌う喜びを味わいながら歌唱する。

7 題材の評価規準

① 音楽への関心・意欲・態度	② 音楽表現の創意工夫	③ 音楽表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・美しい姿勢及び、良い呼吸と響きで歌唱することに意欲的である。 ・声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。

8 題材の指導計画（全6時間）

次	学習内容（時間）	評価				
		関心	工夫	技能	評価規準	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートの音取りとフレーズの確認を行う。（3） 	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・美しい姿勢及び、良い呼吸と響きで歌唱することに意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察
2	<ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割を理解する。 ・役割に合った強弱や音色について、どのように歌ったらよいか表現を工夫する。（2） <p style="text-align: center;">【本時2 / 2】</p>		◎		<ul style="list-style-type: none"> ・音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、発言 ・行動観察
3	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫した表現を意識しながら、混声三部合唱を仕上げる。（1） 	○		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 ・声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察

9 本時の展開

（1）本時の目標

- ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、それに合った強弱や音色などの表現を工夫して歌う。

（2）本時の評価規準

- ・音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。
- 【音楽表現の創意工夫】**

(3) 準備物

・楽譜 ・ワークシート ・練習用CD ・自己評価表

(4) 学習の展開 (5/6時間)

	学習活動	指導上の留意点と支援 ◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て	評価規準	評価方法	[しっかり教える][じっくり考えさせる][はっきり表現させる]ための指導の工夫
導 入	1 発声練習 ・発声の基本を確認する。 ・既習曲を歌唱する。 「夢の世界を」	・美しい姿勢, 良い呼吸, 響かせ方を思い出させる。			
展 開	2 本時のめあての確認	【学習のめあて】パートの役割を理解し, 主旋律が引き立つように工夫して歌おう。			
	3 前時の復習 ・声部の役割と, それに合った強弱と音色について発表する。	・前時の学習を想起して発表させる。			[しっかり教える] ・声部の役割について教える。
言語活動の充実	4 パートに分かれて歌う。 【予想される生徒の意見】 ・この部分は, 次の主旋律につながるどころだから, 一息で歌おう。 ・この次に他のパートがフォルテで主旋律を歌うから, 受け渡すように, クレシェンドをかけていこう。 ・主旋律がきれいに引き立って聴こえるように, 副旋律は柔らかい声で歌おう。	・各パートで, フレーズや強弱, 音色をどのように表現するか再度確認させる。 ・発言や歌唱表現がA評価と判断した生徒には「Goodカード」を渡して評価する。 ・意見として出されたことが表現できているかどうか, 歌声で確認し, 更に工夫を進めさせる。 ◆意見交流がないパートには, パートを半数ずつに分けて互いの歌を聴き合い, 相互評価させる。 ◆意見が具体的でない生徒には, どのようなフレーズの捉え方, 強弱, 音色が良いか考えさせる。	・音色, 旋律, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら, 声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し, どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。(音楽表現の創意工夫)	行動観察	[じっくり考えさせる] ・実際に表現できているかを聴き合いながら表現させ, 意見交流をさせる。
	5 合唱 ・パートごとに歌う。 ・全体で合唱しながら, 表現を高めていく。	・歌唱について, 相互評価をさせながら, 表現を高めていく。 ・どのように歌唱したら表現が伝わるか助言をする。			[はっきり表現させる] ・歌唱表現し, 相互評価させる。
まとめ	6 授業のまとめ ・自己評価表を記入し, 全体で共有する。	・生徒の自己評価を大切にしながら, 教師からの評価を伝える。			